## 「地域防災パートナーシップ協定」を締結

９月17日（金）、西北地域６市町は青森放送株式会社との「地域防災パートナーシップ協定」を締結しました。

この協定は各市町で災害が発生した場合、災害に関する情報（避難情報、被害･復旧状況、避難所開設情報、学校等の児童の保護状況、帰宅困難者対応、水・物資の支給情報、公共インフラ・公共交通機関の情報、被災者支援情報や生活関連情報など）を各市町の放送要請に基づき放送するほか、平時から住民の防災意識を高める活動や情報交換（過去の災害の資料映像の提供、防災の講演会、教室の開催等）について、相互に協力することによって地域の防災力を強化することを目的とするものです。

△山本社長（写真中央）と西北地域６市町の首長ら
【五所川原市役所提供】

あなたの地区の楽しい催しや出来事などがありましたら、役場企画観光課まちづくり班（内線262）までお知らせください。

## 園児らが交通安全を呼びかけ

五所川原地区交通安全協会梅沢支部（花田正俊支部長）と梅沢保育所（鈴木良子所長）は９月15日（水）、町内の横溝ふれあいセンター前で交通安全街頭啓発活動を行いました。

同支部はこれまで、旧梅沢小学校の児童と共に街頭啓発活動を行っていたが、小学校の統合に伴い、今回初めて同保育所と活動を実施しました。

活動は鶴田交番の警察官立ち会いのもと行われ、年長組の子ども７人が自動車のドライバーらに「安全運転でお願いします」と声がけをし、反射材などを手渡していました。

活動に参加した子どもたちは「僕も交通ルールをしっかり守っていきたいです」と話していました。

△ドライバーに反射材を手渡す子ども

## 東北大会出場活躍誓う

９月 27 日（月）、８月に行われたバレーボール、バドミントンの各種大会で好成績を収めた鶴田小学校の児童らが相川町長に東北大会出場報告を行い、大舞台での活躍を誓いました。

鶴田小学校の三浦虎旺さんと弟の旬平さんは、つがる市のバレーボールチーム「つがる JVC」に所属。虎旺さんは「大会で１位をとれるように日々の練習を頑張っていく」と意気込みを語りました。

五所川原市のバドミントンクラブ「五所川原ゴールデンクラブ」に所属する同小学校の楠美珠莉さんは「初めての東北大会だけど、最後まで諦めないで１回でも多く勝ちたい」と気合い十分で語っていました。

大舞台を前にした選手たちに相川町長は「日頃の成果を十二分に発揮し、好成績を期待しています」と激励しました。

△東北大会での活躍を誓う（左２人目から）
楠美珠莉さん、三浦旬平さん、三浦虎旺さん

## ワッツ新社長に町出身の北谷氏就任

プロバスケットボール B リーグ２部・東地区の青森ワッツを運営する「青森スポーツクリエイション」の新たな代表取締役社長に当町出身の北谷稔行氏が就任しました。

９月 24 日、相川町長のもとを訪れ、就任のあいさつをしました。

△町長室を訪れ、相川町長に就任のあいさつをした北谷氏

## ヒガンバナが咲きました

９月下旬、津軽富士見湖堤防の花壇のヒガンバナが開花しました。このヒガンバナは鹿児島県さつま町の「むつみ会」から贈られたものです。

今年度は、富士見湖パーク内の白衣観音堂（びゃくえ）の参道でもヒガンバナを見ることができます。

△白衣観音堂の参道に咲いたヒガンバナ

## 地域おこし協力隊通信

Vol.39（筆：山田園実）

実りの秋、収穫の秋！我が家のスチューベンも無事に収穫の時期を迎えることができました。今年は観光ぶどう農園にも挑戦し色々な方がぶどう畑に遊びに来てくれました。ぶどう畑は遠くからは見ていても中まで入ったことはないという方がほとんどだったので、キレイに並んだぶどうの樹に感動してもらえて嬉しかったです。

鶴田歴４年目に入り、稲刈りが終わった田んぼを見ると、もうすぐ冬かぁ～と思うようになりました。今年の雪はどんな感じなのか今からドキドキです（笑）

△ぶどう園を訪れたお客さんと園実さん

山田さんの SNS

Twitter　facebook

地域おこし協力隊の活動内容は、SNS・町ホームページでも確認することができます。